

ペンダントの温熱効果試験

No. 220T- 757
令和2年4月10日

株式会社 ハッピートーク 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

供試のZEROペンダントを着用した場合の皮膚表面の温熱効果を確認する為、着用前後の測部の時間経過による温度変化をサーモグラフィーにより測定した。

試料 ZEROペンダント

測定条件 1. 測定日時 令和2年4月8日
2. 測定環境 室温24℃ 湿度47%
3. 測定機器 (株)アイ・アール・システム製 MobIR型

測定

健常な成年男性（59才）を被験者とし、まず、20分間にわたり生体を環境温度に慣らした後、着用前の皮膚表面温度をサーモグラフィーにより測定した。次いで、ZEROペンダントを着用し、60分着用後の皮膚表面温度をサーモグラフィーにより測定した。これらの結果を熱画像としてデータ資料に示す。

結果及び考察

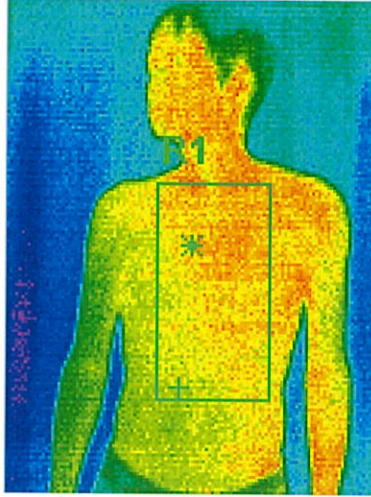
温度分布画像より求めた皮膚表面温度を下表に示す。
ZEROペンダントを着用した場合、着用60分で平均温度は0.5℃上昇した。このことから、ZEROペンダントの着用は温熱特性に優れているといえる。

ZEROペンダント着用による温度上昇(℃)

経過		ZEROペンダント
着用前	平均温度	34.2
	最高温度	35.1
	最低温度	31.0
着用60分後	平均温度	34.7
	最高温度	35.5
	最低温度	31.4

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

ZEROペンダント 着用前

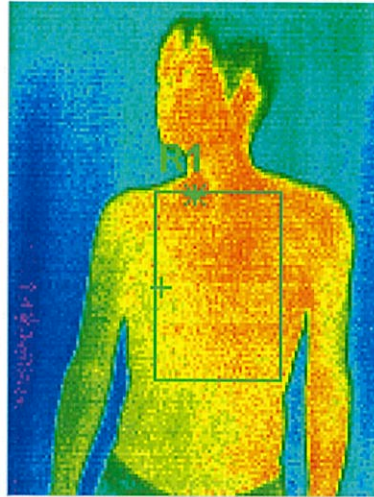


枠付画像

平均温度	34.2
最高温度	35.1
最低温度	31.0

(単位:℃)

ZEROペンダント 着用60分後



枠付画像

平均温度	34.7
最高温度	35.5
最低温度	31.4

(単位:°C)